企業の経営に役立つ総合的な情報誌

あきた商工Biz plus

2025年7月発行
Vol.609
秋田県商工会連合会報
奇数月１日発行
発行日／令和7年7月1日
（昭和45年12月３日第３種郵便物認可）

変革に挑戦

湧き上がるアイディアを〝かたち〟に

祖父母から農業を引き継ぎ、自慢の新鮮野菜をつかって、地域内外の事業者と加工品の共同開発にも挑戦している宮本さん。

開発した万能調味料「SISIMASU（シシマス）」は、2023年県種苗交換会で農林水産大臣賞を受賞しました。

「SISIMASU（シシマス）」は、宮本さんの熱意に賛同した羽後町の「ジャム工房のら」さんの「つぶマスタード」と北秋田市特産の「ししとう」の味噌とを合わせたもの。独特の食感と風味が炊き立てご飯によく合います。

この夏、湧き上がるアイディアを〝かたち〟にする「夢の加工所」を新設、更なる挑戦が期待されます。

ふかさわファーム
代表　宮本　昌子さん
（北秋田市商工会）

宮本さんのアイディアの原点。おじいちゃんから引き継いだ自慢の「ししとう」畑にて

成長プラン評価委員会報告

県連合会及び県内21商工会は、環境変化に対応し、地域と事業者の持続的発展を目指す５年計画「商工会成長プラン'22-26」（以下成長プラン）を令和４年度から推進しています。

成長プランは、評価制度に基づき、毎年度、取組状況を点検し、その結果を次年度事業に反映しています。

今回は、令和６年度の県連合会アクションプログラムの主な取組成果と、県連合会及び県内21商工会の評価結果をご紹介します。

県連合会アクションプログラムの主な取組成果

令和６年度は、12施策のうち、３つの施策（１、４、７）を重点に、各施策を着実に実施しました。
主な取組成果は、次のとおりです。

施策１　企業の挑戦を支える戦略的支援の推進

専門家・相談員・職員が連携して課題解決支援を行い、116社に対して革新的な取組※を実行

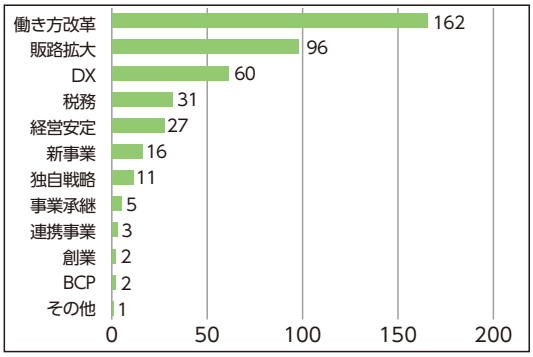
※革新的な取組とは、事業計画における数値目標が、付加価値額伸び率３%以上、総事業費100万円以上の取組

・専門家派遣件数　416件（目標300件）
　内訳は、右図のとおり

・ホームページ新規導入企業数　172社（目標100社）

・施策情報の周知ＰＲ

・創業実現数　161者（目標100者）



専門家派遣件数のテーマ別内訳

施策４　地域課題解決のための地域内連携の強化

「秋田の未来を創る協議会」活動により、秋田の活性化に向けた具体的な行動計画を策定

・「アイディア企画書」全国公募
・代表者会議を開催し４つのテーマが承認

【４つのテーマ】
- 東能代駅から能代駅間の「スイッチバック化」の実現
- 秋田港、船川港、能代港を結ぶ交通ネットワークの整備
- 将来の産業界を支える人材の育成
- 県南“食と文化”に関する広域観光の強化

・関係機関との意見交換や要望活動の実施

４つのアイディア候補を取りまとめた秋田の未来を創る協議会代表者会議

施策７　会員サービス向上のための機動力の強化

商工会の本支所統合を含めた事務局体制の整備を支援

・４商工会の１拠点化に向けた支援

・令和７年度以降に本支所統合を予定する３商工会への個別支援

・生成ＡＩ等のデジタル技術の活用を研究

年度	商工会名	本支所統合状況（予定を含む）
R6	潟上市	２拠点→１拠点（４月１日～）
	かづの	２拠点→１拠点（７月１日～）
	にかほ市	３拠点→１拠点（10月１日～）
	湖東３町	３拠点→１拠点（11月20日～）
R7	由利本荘市	８拠点→１拠点（５月１日～）
	大仙市	７拠点→２拠点（R7年度～）
R8	仙北市	３拠点→１拠点予定（R8年度末まで）

商工会の本支所統合状況

県連合会及び県内21商工会の評価結果

県連合会及び県内２１商工会では、４月に「商工会成長プラン評価委員会」（以下評価委員会）を開催し、令和６年度の取組状況を点検しました。

評価委員会では、行政や支援機関等の外部の委員を交えて、幅広い視点から事業の有効性や次年度への改善点などについて議論しました。

評価結果の概要は、次のとおりです。

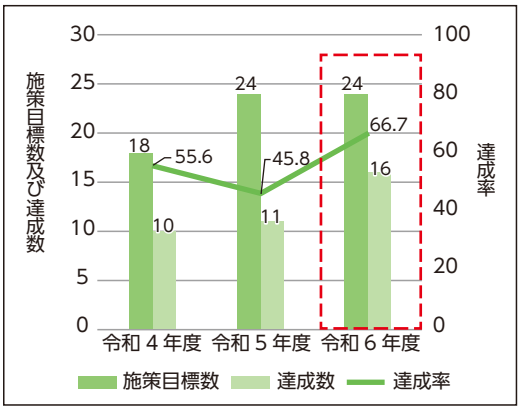
県連合会

●目標達成状況

令和６年度は、24の施策目標のうち、16項目を達成しました。

【達成した主な施策目標】　※（ ）は目標

- 成果の上がった企業の割合　46%　（ 46%）
- 事業承継の実現企業の割合　56%　（ 42%）
- ＢＣＰ策定企業数　586社　（500社）
- 商工業者同士の連携数　20件　（ 9件）
- 地域経済活性化策の提案数　15件　（ 6件）　など



県連合会アクションプログラムの達成状況の推移

●評価委員会からの主なコメント

【総評】

- 施策目標全体の半数以上を達成できたことは高く評価する。
- 一方、未達成項目は、次年度への改善点を踏まえた取組強化が必要。
- 商工会の強みである「フェイス・トゥー・フェイス」を最大限に活かすためには、「人材育成」が必要。

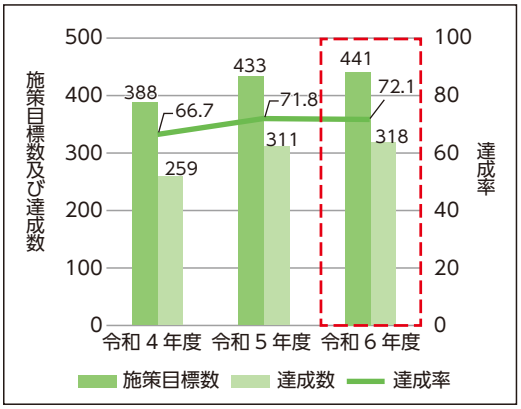
【改善が必要な取組】

- 専門家派遣の実績を分析し、地域の中小企業・小規模事業者の抱える課題の傾向を見極めるべき。
- 「秋田の未来を創る協議会」活動での４つのテーマ実現に向けて、今後のスケジュールを明確にすべき。
- 本支所統合後の会員サービスの低下を招かない工夫が必要。

商工会

●目標達成状況

令和６年度は、合計441の施策目標のうち、318項目を達成しました。



商工会アクションプログラムの達成状況の推移

●評価委員会からの主なコメント

【総評】

- 日々の巡回や関係機関との連携による事業者へのきめ細かな支援が実を結び、目標達成につながっている。

【改善が必要な取組】

- 事業者の成果創出につなげるための情報発信の強化が必要。
- 会員サービス向上につなげるための財政基盤の強化が必要。

県連合会及び県内21商工会の詳しい評価結果は、こちらをご覧ください。
URL：https://www.skr-akita.or.jp/r6hyouka

女性が安心して働ける環境を目指して
建設業の女性活躍推進

商工会では、あきた女性活躍・両立支援センターの専門家と連携し、企業における女性の活躍推進や仕事と育児・家庭の両立に関する支援を行っております。
今回は、女性技術者が現場で活躍している男鹿市商工会会員の事例をご紹介します。

会員事業所の取組事例

株式会社　清水組

代表取締役社長　清水　隆成 さん　　所在地　男鹿市船越
事業内容　海上・水上工事、土木工事、建築工事、不動産業
従業員数　77名
（うち女性12人　職種　土木技術職1名　現場支援4名　事務職5名　パート2名）

工事現場で活躍する女性の職種と業務内容	
・土木技術職	・工事の計画・準備・段取りなど全体の指揮 ・発注者や協力会社との打合せ
・現場支援担当	・技術職のアシスタント ・工事書類の作成や測量機器の管理
・企画採用担当	・工事現場での働く環境の改善や社内行事の企画運営 ・インターンや会社見学者、応募者の案内や対応

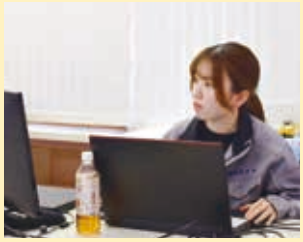
本社の外観と清水社長（中央）、
寺山企画採用係長（左）、
石垣SiteAD※主任
※SiteAD…現場アシスタントディレクター

取組内容

環境整備	・仕事と子育ての両立を図るための一般事業主行動計画を策定（令和3年1月） ・工事現場に設置する女性用の仮設トイレを導入 ・ベテラン技術者と若手従業員の複数人体制で工事を担当 ・年間休日数を105日から120日に増加	取組の結果	・残業時間月平均45時間未満の目標に対して、約6時間に大幅減少。
情報発信	・女性の活躍推進に積極的に取り組む「えるぼしチャレンジ企業」に認定（令和4年） ・地元の中学校高校への出前説明会に参加　年8回（令和7年3月時点） ・SNSを活用した情報発信（YouTube、X（旧Twitter）、Instagram、Facebook） ・ホームページと採用ページをリニューアル（令和7年3月）		・直近6年で12人入社。 うち、女性6人。

働く女性の声　SiteAD部SiteAD主任　石垣　李子 さん（25）

学生時代は建設関係の知識が無く、事務職を希望しておりましたが、現場で働く先輩の姿を見学し、かっこいいと思い、現場業務に興味を持ちました。
仕事を教えてくれる先輩や、就職活動当時からお世話になっている先輩の存在は安心感があります。
建設業界は男性の職業と言われていたようですが、女性だからといった違和感や不便は特に無く働けています。
そのため、学生時代の友人に「素敵だね」と言ってもらえるくらい自慢の職場環境だと思います。



事業者の声　代表取締役社長　清水　隆成 さん

当社では、女性技術者の雇用がきっかけとなり、国の施策の後押しもあって、自然に多くの女性が活躍する職場になりました。
女性の考えや意見を聞く機会が増え、仕事について気づかされることも多いです。
土木工事であれば、道路や施設を利用する方の半分が女性であり、建築であれば、まだ家を切り盛りするのは女性が大半であるため、我々作り手が男性のみという状態では違和感がありますね。そのため、女性の意見や感覚は大切で、最も重視したいと思っています。
建設業界は、国主導で働き方が変化し続けていきますが、良い流れを活かして企業の成長につなげていきたいです。

ここでは、皆様の経営に役立てていただけるよう、各種調査結果から読み取れる今後の経営環境の変化等について、お知らせいたします。

県内の女性就業等の状況について

県連合会では、企業における女性の活躍推進やワークライフバランスの実現を支援しています。
今回は、総務省と秋田県が発表した統計調査から女性就業等の状況をご紹介します。

女性の雇用者等および就業形態の状況

（表１）女性の雇用者等及び就業形態の状況　（単位：人）

	雇用者（役員を含む）			就業形態		
		雇用者	役員	正規の職員（従業員）	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト・その他
平成27年	189,460	184,604	4,856	97,052	3,556	83,996
令和２年	190,974	185,872	5,102	101,912	3,422	80,538
増　減　数	1,514	1,268	246	4,860	▲ 134	▲ 3,458

※総務省　「令和２年国勢調査　就業状態等基本集計結果」を引用し、加工。

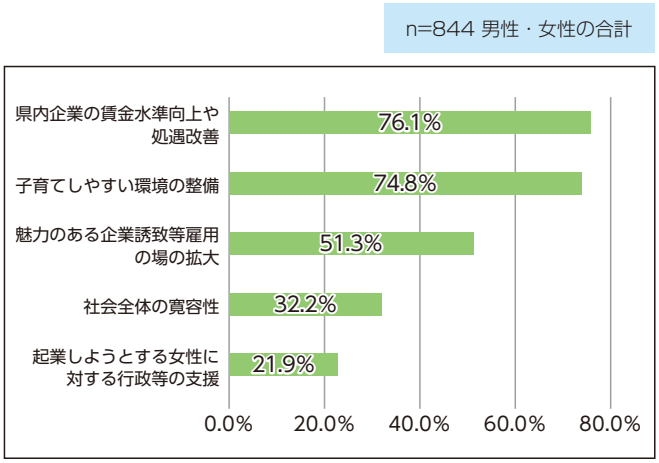
（表２）課長相当以上に占める男性・女性割合の推移（単位：%）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減（令和3年～令和6年）
男性（対前年増減比）	79.3（-）	78.9（↘）	77.8（↘）	76.9（↘）	−2.4
女性（対前年増減比）	20.7（-）	21.1（↗）	22.2（↗）	23.1（↗）	+2.4

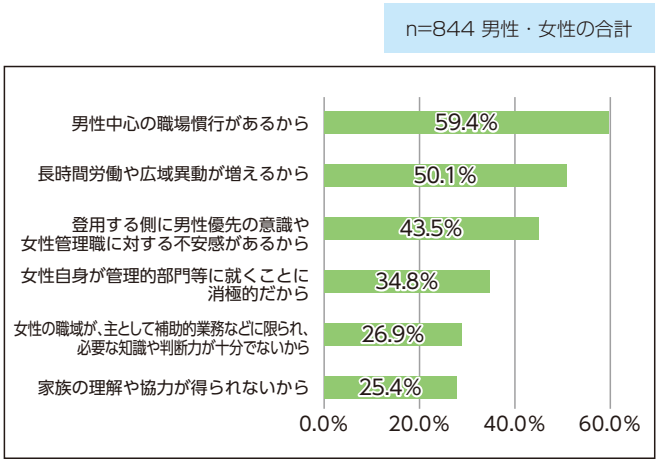
※秋田県「労働条件実態調査」令和３年～令和６年までを引用し、加工。

・県内の女性の雇用者（雇用者含む）は、平成27年から令和２年まで1,514人増加しています。
・特に雇用者は、1,268人増加しており、増加数の８割以上を占めています。
・就業形態は、正規の職員（従業員）が増加し、派遣社員及びパート・アルバイト等が減少しています。
・「課長相当以上に占める男性・女性割合の推移」では、女性の割合が３年間で2.4%増加し、微増傾向にあります。

（図１）県内に女性が定着し、活躍するために必要なこと



（図２）女性管理職が少ない理由



※令和６年度秋田県男女共同参画に関する県民意識調査報告書から引用し、加工。

・「県内に女性が定着し、活躍するために必要なこと」への回答は、働きやすい環境整備が上位に並びました。
・「女性管理職が少ない理由」を見ると、男性中心の職場慣行があるほか、長時間労働や広域異動が増えるといった理由が挙がりました。

まとめ

・県内の女性雇用者数は増加しており、特に正規職員の増加が顕著です。
・女性の登用を進めるには、男女双方の意識改革と、働きやすい環境整備や組織風土が課題として挙げられています。

お知らせ

秋田県商工会連合会役員の補充選任について

5月27日(火)に「令和７年度通常総会」が開催され、次のとおり役員の補充選任が行われました。

理 事

男鹿市商工会
大坂　真一
(早口木材㈱)

県青年部連合会
内田　清文
(有)ウチダ測光)

県女性部連合会
大庭　喜美子
(大庭縫製)

黄綬褒章 秋田県商工会連合会 会長 大森 三四郎 氏

令和７年春の褒章において、永年にわたる建設業への業務精励の功績が認められ、秋田県商工会連合会会長（白神八峰商工会会長）大森三四郎氏が栄誉に浴されました。

栄えある受章を祝し、謹んでお喜び申し上げます。

台湾洋上風力発電事業先進事例視察研修について

「秋田の未来を創る協議会（以下 協議会）」は、洋上風力発電事業の先進事例を収集するため、アジア圏で最も早く本格稼働を実現した台湾の視察研修を実施しました。

現地では、苗栗県（びょうりつけん）にある洋上風力発電事業「フォルモサ１，２」の視察、事業者である㈱ＪＥＲＡの担当者との意見交換を行いました。

洋上風力発電事業に対する地元企業の参画促進等、研修で収集した事例は、今後の協議会活動の参考としていきます。

広 告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する４つの安心サポート
商工貯蓄共済
経営指導 経営のトータルサポート
生命保障 万が一に備えたリスク管理サポート
資金繰り 企業の資金繰りサポート
貯 蓄 資産の充実サポート
どちらも月々2,000円から

あなたも家族もまるごと守る!
頼れる補償の商工会の福祉共済
全国商工会会員福祉共済
「けが」の補償
「病気」の補償
「がん」の補償

VEGETABLE OIL INK ※この紙は再生紙を使用しています。
発行所／秋田県商工会連合会　〒010-0923 秋田市旭北錦町１番47号秋田県商工会館内　電話／018－863－8491㈹
購読料／１部10円（会費に含む）